

住んでよし

働いてよし

訪れてよし

より良い奈良県の実現に向けて 直面する県政諸課題に積極果敢に取り組んでいきます。

脱ベッドタウンを図り、投資・消費・雇用が県内で好循環するよう、
本県経済の活性化と奈良で働くしごとの場を創出します。



郡山下ツ道ジャンクション



奈良で働きませんか

2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とする、
観光振興、文化発信、スポーツの振興などに取り組みます。



ムジークフェストなら2015



奈良マラソン2015

県民ニーズの高い、健康づくり、医療・福祉の充実など、
くらしやすい奈良を創ります。



ドクターヘリ(イメージ)



奈良県健康ステーション(王寺)

過疎化が進んでいる南部地域・東部地域の振興に向けて取り組みます。



かすががーでん(山添村)

く
ら
し
や
す
い
奈良を創る

平成28年度の県予算

指標からみる奈良県のすがた

産業・しごと

従業者1人あたり付加価値額(従業者4~99人)

7,637千円 7,800千円

全国24位
[平成17年度]

全国23位
[平成25年度]

全国順位、付加価値額ともに上昇しており、企業の活動が堅調です。
経済産業省 工業統計調査

就業地別有効求人倍率

0.94倍 1.01倍

全国29位
[平成18年]

全国32位
[平成26年]

平成23年3月の東日本大震災の影響で一時的に落ち込みがあったものの、おおむね上昇傾向が続いています。
厚生労働省 一般職業紹介状況

女性就業率(20~64歳)

53.0% 56.5%

全国47位
[平成17年]

全国47位
[平成22年]

全国最下位であるものの、30~34歳の就業率が上昇したことなどにより上昇しました。
総務省 国勢調査



観光・文化・スポーツ

宿泊者数(延べ)

203万人 262万人

全国46位
[平成23年]

全国46位
[平成27年速報値]

イベントの実施やオフシーズン対策などの取り組みにより延べ宿泊者数は着実に増加しています。
観光庁 宿泊旅行統計調査



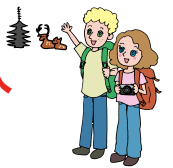
外国人宿泊者数(延べ)

3.5万人 14.5万人

全国38位
[平成23年]

全国26位
[平成26年]

海外プロモーション活動を強化したことなどで、大幅に増加しました。
観光庁 宿泊旅行統計調査



ムジークフェストなら来場者数

3.8万人 10.7万人

[平成24年]

[平成27年]

来場者数は増加しています。



健康・医療・福祉

健康寿命(65歳から健康で自立した生活ができる年数)

[男性]

16.79年 17.93年

全国13位 [平成17年]

全国4位 [平成26年]

[女性]

20.03年 20.65年

全国33位 [平成17年]

全国33位 [平成26年]

男女とも健康寿命は延長しました。



総合型地域スポーツクラブ育成率

38.5% 94.9%

全国47位
[平成21年度]

全国9位
[平成27年度]

平成22年度に県スポーツ支援センターを開設し、市町村等への訪問活動等を強化した結果、上昇しました。
文部科学省 総合型地域スポーツクラブ育成状況調査

文部科学省 総合型地域スポーツクラブ育成状況調査

医師・看護師の確保

人口10万人あたり医師数



201.0人 225.7人

全国27位 [平成18年度]

全国27位 [平成26年度]

厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師調査

人口10万人あたり看護職員数



875.6人 1,069.3人

全国40位 [平成18年度]

全国40位 [平成26年度]

厚生労働省 衛生行政報告例

医師数・看護職員数共に着実に増加しています。



南部地域・東部地域の振興

多様な就業環境の整備に対する満足度(5段階評価)

2.28 2.40

[平成21年度]

[平成27年度]

雇用の掘り起こしとマッチング支援や女性・高齢者の就業支援により、南西部地域、南東部地域、東部地域の全ての地域で満足度が上がりました。

急病時の医療体制に対する満足度(5段階評価)

2.34 2.48

[平成21年度]

[平成27年度]

地域医療体制の整備が進みつつあることなどから、南西部地域、南東部地域、東部地域の全ての地域で満足度が上がりました。



障害者雇用率(50人以上規模の事業所)

1.88% 2.40%

全国9位
[平成18年度]

全国3位
[平成27年度]



県、奈良労働局など障害のある人の就労を支援する機関が密接に連携することにより、上昇しました。
厚生労働省 障害者雇用状況の集計結果

厚生労働省 障害者雇用状況の集計結果

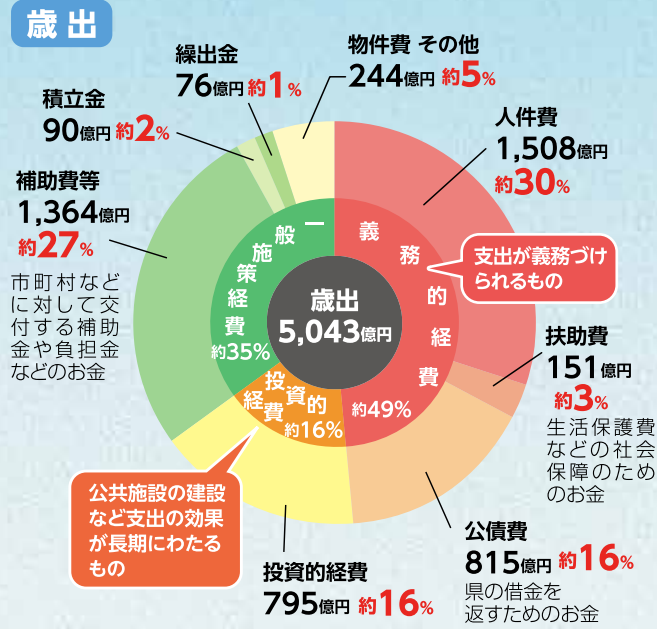
平成28年度 県予算のすがた

平成28年度当初予算 4,951億円
 平成27年度2月補正予算 92億円
 計 5,043億円

※給与改定に伴う増額を除く

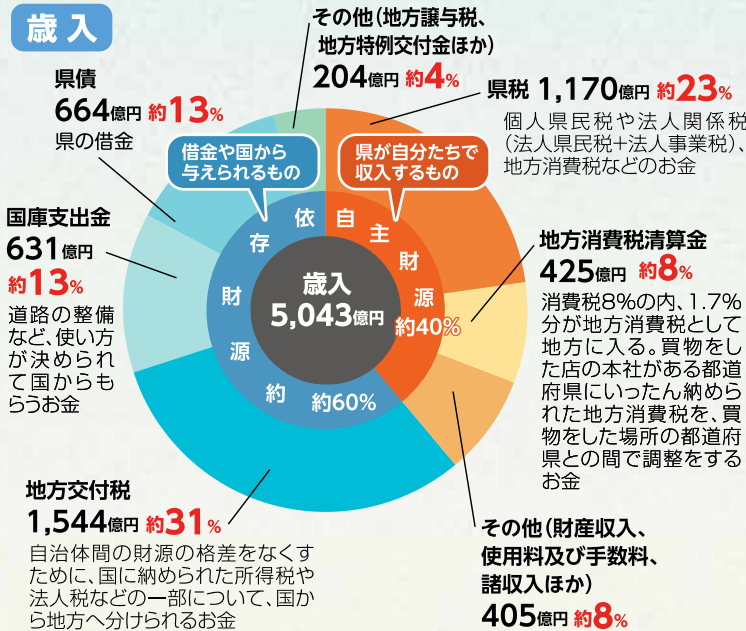
(対前年度128億円増加)

歳出(出て行くお金)



●義務的経費は、人件費が減少したものの、公債費が増加したことにより、6億円増加しました。
 ●投資的経費は、公共事業について「選択と集中」を徹底するとともに、県政課題の克服に向けた主要プロジェクトを計画的に進めることにより、9億円増加しました。
 ●一般施設経費は、社会保障施策の充実等により112億円増加しました。

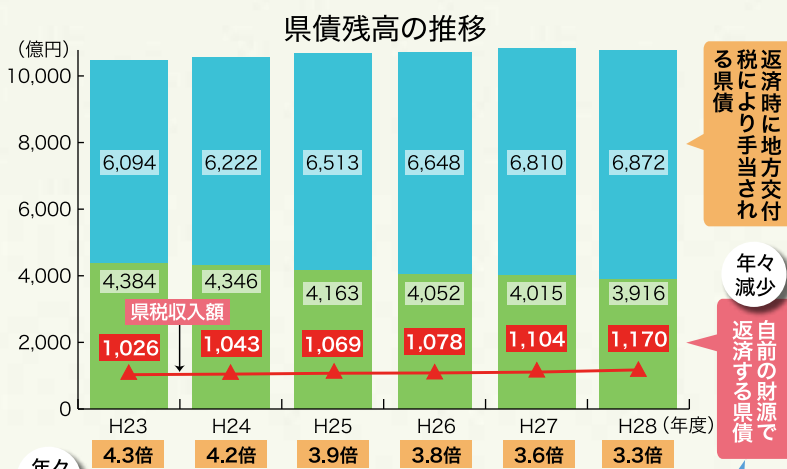
歳入(入ってくるお金)



●主な一般財源(県税等、地方交付税、臨時財政対策債等の合計)は、65億円増加しました。
 ●国庫支出金、繰入金等は減少するものの、諸収入、県債(臨時財政対策債を除く)等が増加するため、特定財源は57億円増加しました。

これまで伸び続けていた 県債残高が減少

県の借金である県債の残高のうち、特に自前の財源で返済する県債を減らし、将来の負担を減らすことを目標としています。



年々減少
 自前の財源で返済する県債/県税収入額

これまでの財政運営の結果、県が自前の財源で返済する県債は年々減少し、近年では最も少ない水準となっています。



©NARA pref.

今年度の主な取り組みを紹介します。

※ **NEW** は、28年度から新しく予算化された取り組みです。 ※カッコ内は百万円未満を四捨五入したおおよその予算額です。

1 経済の活性化

産業構造の改革

NEW 製造から小売までを一貫して行うSPA事業モデルを構築(1000万円)

NEW 大和野菜をモデルに、生産・流通加工・販売を連結する縦型事業協同組合モデルの実証(4000万円)

県内就業の促進

NEW 若年者の職場定着率向上や正規雇用化を促進(600万円)

NEW 障害者を雇用する意欲的な事業所の雇用拡大に向けた取り組みや特例子会社の設立・運営を促進(3000万円)



無料職業紹介(しごとiセンター)



なら食と農の魅力創造国際大学校(安倍校舎)

農・畜産・水産業の振興

NEW 「なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)」周辺の賑わいづくりを推進(2600万円)

観光の振興

● 大宮通り新ホテル・交流拠点における、ホテルを核とした賑わいと交流の拠点整備の推進(2億6900万円)



大宮通り新ホテル・交流拠点



奈良大立山まつり

● 宿泊観光客の増加に向けた冬季イベント(奈良大立山まつり)の開催(9600万円)

● 平城宮跡周辺の魅力向上

(朱雀大路西側地区の公園整備、**NEW** 第1次開園に向けたプロモーションの実施等)(24億5900万円)



平城宮跡歴史公園 朱雀大路西側地区整備イメージ図

林業・木材産業の振興

● 首都圏の商業施設や住宅等への新たな販路の開拓
(**NEW** 東京オリンピック・パラリンピック関連施設等での県産材使用に向けた売り込み等)(2500万円)

2 暮らしの向上

健康づくりの推進

NEW がん検診対象者への個別受診勧奨と未受診者への再勧奨等を実施する市町村を支援(5100万円)



「がん検診を受けよう!」奈良県民会議

医療の充実

● 北和地域の高度医療拠点病院としての奈良県総合医療センターの移転整備、アクセス道路等の整備(133億1600万円)



奈良県総合医療センターイメージ図

福祉の充実 少子化対策・女性の活躍促進

● 子どもに対する医療費助成 **全国トップレベル**
(**NEW** 小・中学生の通院を助成対象に追加)(9億4600万円)

NEW 「翻訳者養成塾」を修了した女性等の起業就業を支援
(観光パンフレット等の翻訳の機会を提供)(800万円)

学びの支援

● 不登校・いじめ対策の推進
(**NEW** 大学生ボランティアの派遣、スクールカウンセラーの配置強化等)(7600万円)

2 くらしの向上(くらし)

文化の振興

NEW 「文化芸術立国」に向けた先駆的な拠点として
(仮称)奈良県国際芸術家村の整備基本計画を
策定(6600万円)

スポーツの振興

●ラグビーワールドカップ、
東京オリンピック・パラリ
ンピックキャンプ地招致を
推進(1800万円)



リオ五輪アジア最終予選事前キャンプ
(オーストラリア女子サッカー)



(仮称)奈良県国際芸術家村イメージ図

安全・安心の確保

●大和川流域の力を結集した洪水対策(34億8900万円)

景観・環境の保全と創造

●奈良県を「つの庭」と見立てた「なら四季彩の
庭」づくりの推進
(奈良公園、馬見丘陵公園、山の辺南等各エリアの
整備等)(4億8100万円)



「なら四季彩の庭」づくり
(奈良市水上池周辺)

エネルギー政策の推進

NEW 地域振興や停電時の電力供給・熱利用を目的とする、
再生可能エネルギー活用の可能性調査を支援(1000万円)

くらしやすいまちづくり

●協働してまちづくりを推進するための連携協定を締結した
市町村に対する支援
(**NEW** まちづくりを目的としたイベントへの支援等)
(3億1200万円)

3

南部地域・ 東部地域の振興

●地域の特色を活かしたイベントの開催による交流の
促進
(奥大和ゆうゆう祭、えんがわ音楽祭 in 洞川、
Kobo Trail 2016等の開催)
(2900万円)



奥大和ゆうゆう祭(宇陀市)

4

効率的・効果的な 基盤整備

●骨格幹線道路ネットワークの整備
(153億7200万円)
●道路・河川等の防災・減災対策
(108億8800万円)
●老朽化対策(43億4600万円)

5

協働の推進および 市町村への支援

●地元自治会やボランティア団体等が取り組む
植栽・緑化活動等への支援(7300万円)
(**NEW** 市町村が実施するごみ処理の広域化に
対する支援
(1億400万円)

知事からひとこと

奈良をもっと良くするため、本県が有している豊富で
貴重な歴史・文化などの地域
資源の発掘・活用・結集を行
い、市町村・民間との連携・協
働による奈良モデルの展開を
図りながら、奈良のより良き
未来を形成してまいります。

